

# フクロウ フクロウ科

フクロウは平地や山地の大きな木のある林にすんでいます。特に神社などの林にすみつき、大きな木のうろ（穴）に巣を作ることがあります。



フクロウの成鳥



フクロウの幼鳥

写真提供：関 幸良氏

## 生態 など

1年をとおして同じ地域で生活していますが、夜に活動するため、<sup>すがた</sup>姿を見ることは大変むずかしいです。しかし、夜、「ホーホー、ゴロスケ、ホーホー」という鳴き声は聞くことができます。鳴くのは冬から春にかけての時期です。

春から初夏にかけて、大きな木の<sup>あな</sup>穴に巣を作り子育てをします。ヒナは白い産毛におおわれて、もこもことしたかわいい感じです。エサはネズミ類を丸のみにします。

### 調べやすい時期

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
					生息						
鳴き声										鳴き声	
子育て											

## 県内の分布

県内に広く分布していると思われていますが、分布についてはくわしく調べられていません。この調査によって、石川県のフクロウの分布がわかることとなります。

近年、フクロウのエサとなるネズミなどがすんでいる田畑が少なくなったり、巣を作る大きな木が少なくなっていることなどから、その数は少なくなっていると思われています。

## 見分け方のポイント

<sup>すがた</sup>姿を見れば写真のような平らな顔に黒い目、ずんぐりとした特ちょうのある形をしているので、間ちがえることはないと思われていますが、夜行性で日中はなかなか見ることができないので、<sup>かくにん</sup>鳴き声で確認してください。

間ちがえやすいのはアオバズクです。同じフクロウの仲間、春に日本に<sup>わた</sup>渡ってきて、夏にかけてフクロウとよく似た<sup>かんきょう</sup>環境に生息しますが、鳴き声がちがいます。

	フクロウ		アオバズク	
		写真提供：関 幸良氏		写真提供：中村正博氏
大きさ	カラスより大きい		ハトより小さい	
目の色	黒色		黄色	
鳴き声	ホーホー、ゴロスケ、ホーホー		ホッホー、ホッホーを連続	